



2020年10月28日

各 位

会 社 名 エバラ食品工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 森村 剛士
(コード番号: 2819 東証第1部)
問合せ先 取締役 半田 正之
(TEL. 045-226-0107)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年7月31日に公表した2021年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正
(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,100	1,450	1,500	990	95.61
今回修正予想 (B)	25,247	1,826	1,870	1,233	120.32
増減額 (B-A)	147	376	370	243	—
増減率 (%)	0.6	25.9	24.7	24.6	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	25,575	1,161	1,191	787	75.57

2. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正
(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,095	1,702	1,784	1,175	113.55
今回修正予想 (B)	48,548	2,078	2,154	1,418	140.07
増減額 (B-A)	△1,546	376	370	243	—
増減率 (%)	△3.1	22.1	20.7	20.7	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	51,228	2,311	2,375	1,482	142.27

3. 修正の理由

(1) 2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想

当第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴う内食需要の下支えもあり、『黄金の味』やポーション調味料等の家庭用商品の売上が第1四半期に引き続き計画水準を超えて推移したことにより、前回公表した予想を上回る見込みとなりました。利益面につきましては、商品構成の変化等による売上原価率の低減に加え、当社グループにおける感染防止対策の徹底により、一部経費が未使用となった影響もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回公表した予想を大きく上回る見込みとなりました。

(2) 2021年3月期通期の業績予想

通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴う国内外の業務用商品への販売影響等を勘案したことにより、売上高は前回公表した予想を下回る見込みとなりました。利益面につきましては、新型コロナウイルス感染症が各事業環境に与える影響が依然不透明ななか、当第2四半期累計期間の連結業績予想を勘案したことにより、前回公表した予想を上回る見込みとなりました。今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以 上